

## 5・2 港湾整備関係

### 5・2・1 国際コンテナ戦略港湾政策

国土交通省港湾局「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会」は、2014年1月、国際コンテナ戦略港湾政策の深化と加速に向けた「集貨、創貨および競争力強化の個別施策（3本柱）」を含む報告書を取りまとめ、その後、同個別施策の実施状況をフォローアップすべく適宜会議を開催してきた。2019年2月の第10回委員会において、政策目標の達成状況や個別施策の進捗を確認するため同委員会の下に実務者レベルの「国際コンテナ戦略港湾政策推進WG」を設置、各種フォローアップを行うことを決定するとともに、同3月には「最終とりまとめフォローアップ」を公表した。

2022年度は6月23日に第4回WGが開催され、第3回WGで整理した「ワーキンググループ中間とりまとめ」（集荷・創貨・競争力強化+新たな事項（CNP・DX・港湾の強靱化））のレビューや港湾政策を取り巻く状況等について確認・議論がなされた。（WG名簿は【資料5-2-1-1】参照）

さらに、2023年度は上述の「最終とりまとめフォローアップ」に記載されている政策目標の最終年であることに加え、2019年の港湾法改正時に設定されたKPIの目標年次となることから、「委員会」および「WG」を発展的に解消、新たに「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会」を設置し、政策目標及びKPIのフォローアップと2024年度以降の国際コンテナ戦略港湾政策の進め方等について検討を行うこととされたため、当協会もこれに参画した。（新委員会の名簿は【資料5-2-1-2】参照）当該委員会は、2023年2月から6月に6回の会議を開催し6月27日に「中間とりまとめ」（概要【資料5-2-1-3】）を公表するとともに、2024年1月に「最終とりまとめの決定」を予定している。当協会は、2月24日に開催された第2回委員会において、国際コンテナ戦略港湾政策に対する意見（【資料5-2-1-4】）を発表した。

### 5・2・2 交通政策審議会港湾分科会

2022年度、交通政策審議会港湾分科会は4回開催され（第85～88回）、各港における港湾計画の改訂や一部変更の審議を行うとともに、特定港湾の機能を効率的に発揮させるために必要な上屋、荷役機械、ふ頭用地等を整備する「令和4年度特定港湾施設整備事業基本計画（案）」について審議、了承した。また、カーボンニュートラルポート（CNP）への取組など関係事業の進捗等についても報告がなされた。（分科会名簿は【資料5-2-1-5】参照）2022年度における本分科会の主な議題は以下の通り。

【第85回】2022年6月29日

- ・ 令和四年度特定港湾施設整備事業基本計画（案）について（審議）
- ・ 大阪湾圏域広域処理場整備基本計画の変更について（審議）

- ・ 港湾計画業務改善に向けた取組について（報告）
- ・ 洋上風力発電の導入促進に向けた最近の状況（報告）
- ・ 海底火山「福徳岡ノ場」の噴火に係る港湾分野の対応（報告）
- ・ 福島県沖を震源とする地震における港湾分野の対応（報告）
- ・ 港湾における SDGs の取組について（報告）
- ・ 港湾の中長期政策「PORT 2030」の進捗状況について（報告）

**【第 86 回】 2022 年 11 月 16 日**

- ・ 洋上風力発電の導入促進に向けた最近の状況（報告）
- ・ 港湾計画について（審議）：新潟港（一部変更）
- ・ サイバーポートについて（報告）
- ・ 徳山下松港内航コンテナ船転覆事故における港湾分野の対応について（報告）
- ・ 「命のみなとネットワーク」の形成に向けて（報告）
- ・ 気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方について（報告）
- ・ カーボンニュートラルポート（CNP）の形成について（報告）
- ・ 国際クルーズ運航に向けた現状について（報告）

**【第 87 回】 2023 年 1 月 24 日**

- ・ 港湾法の改正について（報告）
- ・ 「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更について（審議）
- ・ 港湾計画について（審議）：横浜港（一部変更）
- ・ 港湾計画業務改善について（報告）

**【第 88 回】 2023 年 3 月 8 日**

- ・ 「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」（答申案）について（審議）
- ・ 港湾計画について（審議）：那覇港（改訂）
- ・ 新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方に関する取組について（報告）
- ・ 物流の 2024 年問題に向けた次世代高規格ユニットロードターミナルの検討について（報告）
- ・ 洋上風力発電の導入促進に向けた最近の状況（報告）
- ・ 命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクトについて（報告）